



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第12号
(平成26年3月10日)
福島県農林水産部農業振興課



【麦類】 (3月1日現在)

農業総合センター(浜地域研究所)における麦類の生育は、きぬあずま、ふくあかり、シュンライとも草丈は平年より短く、葉齢は遅れています。茎数はふくあかり、シュンライでそれぞれ平年比87%、84%と少ないですが、きぬあずまは94%と平年並みです。幼穂形成始期は、ふくあかりが2月22日、シュンライが1月26日と平年並み、きぬあずまは降雪、低温の影響で平年より17日遅れの2月20日となっています。

【野菜】 (3月3日現在)

1 いちご

県北地方の夜冷促成では第二次腋果房の収穫初め、普通促成では第一次腋果房の収穫中です。生育は低温の影響で平年と比べ7日程度遅れています。

病害虫はうどんこ病、ハダニ類、アブラムシ類、アザミウマ類が発生しています。特にハダニ類は平年より発生ほ場割合が高いため、注意が必要です。

2 にら

県中地方では、10月中旬に被覆を開始した2年株で4番刈り収穫後半となっています。11月上旬に被覆を開始した1年株で3番刈り収穫後半です。株養成期の高温・乾燥及び収穫期の低温の影響で葉幅が狭い傾向にあります。

病害は白斑葉枯病の発生ほ場割合が高いため、注意が必要です。

3 しゅんぎく

県北地方のハウス栽培の生育は、低温の影響で平年より1週間程度遅れていますが、3月末まで収穫が行われる見込みです。

【果樹】 (3月3日現在)

農業総合センター果樹研究所によると、今後の気温が平年並みに経過した場合、もも「あかつき」の発芽は3月29日頃で平年より3日遅く、ナシ「幸水」の発芽は4月6日頃で3日遅く、リンゴ「ふじ」の発芽は3月31日頃で2日遅いと予測されています。

なお、この時期の生育は直前の気温の影響が大きいため、今後の気温の推移により大きく変動する可能性があるため注意が必要です。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報(ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>)等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224